

監督、撮影、編集、録音:前田真二郎

日本 / 2022 / 日本語 / カラー / DCP / 120分 提供: SOL CHORD

Director, Photography, Editing, Sound: Marda Shinjiro
JAPAN / 2022 / Japanese / Color / DCP / 120 min
Sources (SOL CHOND)
English subcirles: Yamamoto Kumiko

上映日

10月8日(日) Sun. 10:15-12:20

山形市民会館 大ホール Yamagata Citizens' Hall (Large) 10月9日(月·祝) Mon. 18:05-20:10

山形市中央公民館ホール(6階) Yamagata Central Public Hall (6F) 使用曲:室内楽《変容の対象》(作曲:福島論+濱地潤一) 演奏:山内敦子、木村佳、福島論、濱地潤一

Music: «an object of metamorphose» by Fukushima Satoshi and Hamaji Junichi

Performed by: Yamauchi Atsuko, Kimura Kei, Fukushima Satoshi, Hamaji Junichi



今、『1984』を読むと、現代の私たちの社会、 遠くない未来を予言しているように思えてきます。

オーウェルは、なぜ、人々が『1984』のような世界に行き着いてしまうと想像できたのでしょうか。

監督プロフィール -

前田真二郎 Maeda Shinjiro

1969年、大阪府生まれ。岐阜県在住。90年代初頭から、実験映画、ドキュメンタリー、メディアアートなどの領域を横断しながら映像作家として発表を続ける。美術家や音楽家、パフォーマーとの共同制作を積極的に行い、手法は、写真、映像マッピング、ライブ上映、オンライン配信など多岐に渡る。映像レーベル SOL CHORD の監修を務め、DVD出版やWEBムービー・プロジェクトにも力を注ぐ。近年は、映像メディアを「未知を発見する装置」と捉え、作者が撮影した無意識を含む「記録」を、自ら設定した規則に基づいて作品化する方法を実践。情報科学芸術大学院大学(IAMAS) 教授。

Born in Osaka in 1969 and currently lives in Gifu. He has been active as a filmmaker since the beginning of the 1990s, working across fields that include experimental film, documentaries, and media art. He actively collaborates with visual artists, musicians, and performers, using techniques that range widely from photography and image mapping to live projection and online transmission. Serving as the supervising director of the SOL CHORD video



Mail: maedashinjiro@gmail.com https://maedashinjiro.jp/



label, he also devotes himself to DVD publishing and WEB movie projects. In recent years, he has treated visual image media as an "instrument for discovering the unknown" and has implemented methods based on self-imposed rules for creating works from documentary material that contains the unconscious as recorded by the filmmaker. He is a professor at the Institute of Advanced Media Arts and Sciences (IAMAS).

撮影行為とアートを結ぶ、映像レーベル SOL CHORD https://solchord.jp/



監督のことば ---

『日々"hibi" AUG』は作者が設定した撮影・編集ルールに従って取り組んだ作品だ。毎日撮影した映像を 15 秒ずつ順番につなげて映画を制作した。撮影内容は主に偶然出会った日常風景で、特定の場所や知人、語りを収録した日もあった。カットのつながりを想像しながら撮影は即興的に行った。本作の目的は作者の生活を正確に記録することではない。映像が事実の集積だとしても、映画内部には現実とは異なるもう一人の作者「前田真二郎」が現れる。その一人称の「まなざし」が映画世界を導く主人公だ。当初、仕事が比較的落ち着いているといった軽い理由から8月を選び、毎年撮影することを決めた。制作を開始すると、日本の8月は、広島と長崎に原爆が投下され、第二次世界大戦が終結した月であり、先祖や故人を迎えるお盆がある特別な月であることを意識するようになった。

制作期間は、リーマンショックが起きた2008年からロシアが ウクライナに侵攻した 2022年までの 15年間。この間、東日本 大震災が発生し、総理大臣は何度か交代し、年号は平成か ら令和に移行し、2020年には COVID-19 の感染が拡大 した。別の観点では、スマホや SNS が社会に浸透した時期と 重なる。また、主人公(=作者)は、結婚式を2度挙げ、癌の手 術を経験したことに気がつく人もいるかもしれない。この映画 は、21世紀初頭の15年間を生きた、ある個人の「まなざし」の 記録である。その「まなざし」は、まるで、テロリストの「まなざし」 のように見える時もあったのではないか。観客はスクリーンに 映し出される無数の「見たことのあるもの/見たことのないも の」を見つめながら、それらと自分の記憶を重ね合わせるだろ う。そして突然忘れていた事柄を思い出すかもしれないし、あ るいは人間に備わる「忘却」を実感するかもしれない。映画が 観客自身の記憶と結びつき、新たな意味を生み出す瞬間を 期待している。

H "hibi", AUG

監督、撮影、編集、録音:前田真二郎

日本 / 2022/日本語 / カラー / DCP / 120分 提供: SOL CHORD

